

# 妙安寺だより 349

テレフォン法話 092-751-6084 (毎週月曜日に話が変わります)

## 秋季お彼岸お施餓鬼法要の案内

9月26日(木 彼岸明け)

午後1時より

お彼岸お施餓鬼法要

午後2時より

法話

\*正午より お齋(おとき=昼食)の準備をしております

9月20日(金 彼岸入り)

午前11時

午後1時

お彼岸読誦回向

9月23日(月 彼岸中日)

午前11時

午後1時

お彼岸読誦回向

\*ご自由にご参詣ください

なお、各家のお彼岸盆の回向廻りは、副住職がお伺いいたします。

交通事情・その他によりお伺いする時間が、早くなったり遅くなったりする場合があります。

※ソトバ供養ご希望の方は、必ず、同封の申し込み用紙にてお申し込みくださいますようお願いいたします。

※ ミニ法話 [生 と 死] \*生は下にあり、死は上にあり。答え「一」の字。

「生奇死帰」(生ハ奇也、死ハ帰也) = 人間がこの世に生きているのは一時の寄留で、死はに帰るようなものだということ。

「死生有命」(死生命有り) = 死生は天命であり、人力の及ぶものではないということ。

人間が生きているということは幸せになるためである。幸せとは、生きている間にたくさんの人を愛し愛されることである。そして、人間に与えられている平等の中で最も大きいのは、すべての人がやがて死ぬということである。

人間は死ぬために生きる。死んだ後のことをあれこれと考えて苦勞するよりも、与えられたこの世での時間を全うし、精一杯豊に生きることが一番の幸せである。